

肉便器の朝は早い  
#09 名無しの便器

シナリオ…さんきち  
サークル名…ケチャップ味のマヨネーズ

肉便器の朝は早い。

だって私のご主人様はとっても優しいから。だから早起きをする。

今日もきつと痛くて苦しくて悶えてしまう責めを、たくさんたくさんしてくれると思う。

だから私、ご主人様が好き。大好き！

ああ……早くこないかな、ご主人様早くきて欲しいなあ……私をいっぱい虐めて欲しいなあ……。

／＼ドア

「あ、ご主人様！ おはようございますご主人様あ！ ねえ今日はどんな責め——」

／＼蹴る

「うぶっ！ ごほっ！ 抱きつこうとしたらご主人様がおっぱい蹴ったあ。けほっ、けほっ……」

「ご主人様あ、蹴られるのも嬉しいです……でも胸を蹴られると突き飛ばされるのでちょっと悲しいです……蹴るんだったらお腹にして欲しいです」

「だって私おっぱい小さいし、胸は骨があるから真後ろに倒れてしまうのです。突き放される感じが嫌なのです」

「でもお腹だったらすごく柔らかいからグニユッてご主人様のつま先がめり込むのです。突き飛ばされず、前のめりにうずくまってしまつてご主人様の足にすがりつける……」

「だからご主人様、私のお腹蹴ってください。お腹蹴られて痛くて苦しくて、吐きそうになつて、それでもご主人様の足にすがりついて……いっぱいおねだりしたいです——うあっ！」

「か、髪の毛、ご主人様、髪引つ張ってます！ あっ、あ、抜ける、髪抜けます、ご主人様、髪は——」

／＼殴る

「うぐっううっ！ お、げっ……お腹、不意打ち……げほっ！ げほっ、げっ……おええええええ……！」

「げっ、え……はっ、はあ、はあ、はあ……か、髪引つ張られて、お腹殴られるって、痛くて気持ちいいです……でも、すごく効いちゃって、動け、ない……はあ、はあ、はあ……んぐっ……！」

「また、また髪ギュッて掴んで……あっ、おちんちん咥えるのですね、わかり、ました……ご主人様の固くて大きいおちんちん、美味しいおちんちんいっぱい、しゃぶって——んぶっ、まっ、ごひゅじんひやま、口にぐりぐりおちんちん押しつけるのは——んあっ、ぶっ……！」

「んぐっ、ぶ……！ く、口の中につ、んぶっ、思いきり、です……げぼっ！ おちんちん、ぐっ、ぶっ……！」

「ぶ、ぶはっ、い、息、出来ない、れす……ごひゅじんひやまあ……あ、あまり、喉まで、突っ込まれたら……んぶっ、ぐっ！ ぶっ、うううっ！」

「えぶっ、ぶっ……げ、ぼっ！ えっ、げほっ！ げぼげほっ！ ぶっ、ぶはごしゅ、じん、さまっ、ちよっと、吐きそう、でしたあ……」

「で、でも、うれひいれす、喉、おちんちんで、ごりごり突かれて、おえって、なるの、お腹、びくびくするの、虐められてる、みたいで、気持ちいい、れす……ぷっ、はあ、はあ、はあ……」

「もつと、んぶっ、もつと、おちんちん、喉、まれ……じゅっ、じゅぶっ、のみほむっ、れす……はう、む……じゅっ、じゅるっ……」

「じゅっ、ぢゅっ、ぢゅるるるっ、ぢゅ……ぶっ、ふは、おちんちん美味しいです、ご主人様のおちんちんが、喉の奥までごりごり、突っ込んでくるの、苦しくて気持ちいいです……んっ、んぶっ、ぢゅっ……」

「ぢゅっ、ぐっ、ぶうううう！！ んぶっ、ううう！？ ぶっ、ごしゅ、じんっ、ひや、ぶは！ ふ、深い、です、喉の、すごく、深いところ、んっ、ぶおおおっ！ ごじゅっ、ぢゅっ、ごぼっ！」

「じゅっ、じゅぶぎゅっ、じびゅっ！ びゅっ、ぢゅっ……！ ぶげっ、おげおおおっ、げぼっ！ まっ、息、でき、なっ、んぶっ……奥すぎ、胃液、あがって——ぐっぢゅっ、ぐっ、ごぼっ！！」

## ／嘔吐

「んうっ、ぷっ……げっ、おええええっ！！ げっ、おええええええ！！」

「げほっ、げっ、おえっ、えええええ……！ げっ、は、はあ、はあ、ごめんなさい、ごめんなさいご主人様あ、吐いちゃいました……」

「喉を、ごりごり、おちんちんで突かれるの、気持ちよくて、我慢、できませんでしたあ……はあ、はあ……はあ、んえっ……」

「今度は、我慢、します、吐きそうなの、気持ちよくても、我慢するから、ご主人様のおちんちん、ください、もつと、いっぱい……いっぱい——んええっ、ぢゅっ、ぢゅぶっ、ぢゅるるるるっ……」

「んむんむっ、ぶはっ、ご主人様のおちんちん……いっぱい、しゃぶれる、んむっ、ぢゅっ、ぢゅっ……ぐっ、ぶううううう！？ んっ、ん——っ！！」

「ぶっ、強すぎ、れす、ご主人様、いっぱい喉、突いて、また、吐いちゃう——んぐっ、ぢゅっ、ぢゅっ、ぢゅぼっ、ぢゅぼおおおおおおっ！！」

「ごっ、ぢゅぼっ、ぢゅるるるっ、ぢゅ、おちんちんがっ、ひゅっ、ぢゅ……んぐっ、ぶっ、ぐうううっ！ お、おちんちんが、根元まれっ、突っ込まれてええっ、ぐぼっ……！！」

「おっ、ぐ……ぢゅぐっ、ぼっ、ぢゅぐぼっ、ぢゅ……ぐぼおお！！ ごっ、おおおっ、ごぼっ……！！」

（続きは製品版をご購入下さい）